

曾野瑞弘先生(加東市)の評議員会での発言要旨

後期高齢者の窓口負担増反対の請願活動について

協会は11月18日、第94回評議員会・臨時決算総会・第41回共済制度委員会を開催。評議員ら89人が参加し、2018年度前半期会務報告と後半期の重点課題、決議を承認した。北播支部からの曾野瑞弘先生の発言要旨を紹介する。



曾野先生が支部から発言

北播支部では、協会より提起された「75歳以上の後期高齢者の窓口負担・原則1割の継続を求める意見書採択についての請願書」の意見書採択に向け、自治体毎に活動を進めています。

請願趣旨についても、支部世話人会で「もっとわかりやすく、多くの議員さんが賛同できる文言がよいのでは…」と議論してきました。現在西脇市、三木市等で、支部世話人が関係のある市会議員さんに紹介議員を依頼。12月議会で、委員会での意見陳述も含めて対応を検討しています。またこの6月には、後期高齢者広域連合が厚生労働大臣宛で「要望書」の形で「窓口負担据え置き」を求めているようですので、こうした動きも運動に使っていくべきと思います。

みなさんの地域でも、経済的な理由で必要な受診ができない高齢者が増えているのではないのでしょうか。地方からも、患者負担増反対の世論を広げるために、全県で声を上げていこうではありませんか。

「みんなでストップ! 患者負担増」署名にご協力を



協会では、政府が進める患者負担増計画を阻止するために、「みんなでストップ! 患者負担増」署名に取り組んでいます。

75歳以上の患者窓口負担の原則1割から2割への引き上げなどが計画されており、これらの制度改悪が実施されれば、高い窓口負担を理由に受診抑制が進みかねません。

患者さんにも政府の狙いを知らせ、負担増計画をストップさせましょう。

署名用紙などのご注文・お問い合わせは、Tel 078-393-1807 まで

兵庫県保険医協会

北播支部

ニュース

2018年12月15日号 No.172

発行者 兵庫県保険医協会北播支部
支部長 柏木 有二

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階

☎(078)393-1801 FAX(078)393-1802

http://www.hhk.jp/

「医療安全管理研修会」開催

対策と確認の大切さ実感

北播支部は11月17日、小野市内で医療安全管理研修会「外来における医療安全管理～事例紹介を中心に～」を開催。市立加西病院・医療安全管理室長の岸本朱美氏を講師に、会員、スタッフら17人が参加した。宮川嘉真先生の感想を紹介する。



エラー防止のポイントの紹介

昨今、医療安全に関する関心が高まっている。医療事故や医療過誤といった報道がなされる度にドキッとする。医師を30年以上していると、私も少なからず思い当たる節がある。幸い大きな事故には至ってないが(本当は患者さん側で許していただいているのかと思うが)医療とはなんと危ういことをしているものか。車の運転と同じで、なくては困るが一歩間違えると大変なことになる。誰も事故を起こそうとしている者はいない。一瞬の心違いが大変な結果につながる。

医療事故の見方が米国の医学研究所の「人は誰でも間違える」という書籍の発行をきっかけに、1990年代は「医療事故はあってはならないこと。個々の注意で防げる」という考えが、2000年以降「医療事故は起こりうること。チームや組織全体のあり方改善抜きでは事故防止できない」と変わってきたとのこと。事故が起こることを想定し、先に対策し、一つ一つを確認することが大切かと思われた。

おもしろかったのは、電車の乗務員さんのように指差し確認する時、人差し指に赤いマニキュアを塗って(マニキュアに抵抗ある方は赤いテープでもシールでも良い)確認すると意識が高まるとのこと。患者さんから笑われるかもしれないが、一度やってみようと思う。とても中身の濃い研修会であった。

機会があれば皆さんも是非ともご参加されることをお勧めしたい。【加東市 宮川 嘉真】

(2面につづく)

(1面のつづき)

参加者の声

・医療安全の必要性は理解しましたが、現実問題として今の業務体制では情報を共有する時間が限られており、難しいように思いました。一人ひとりの意識が大切な…と思いました(事務 経験年数1年)

・日常業務の中で日々の忙しい流れもあり、忘れがちなことを貴重なお時間をいただき、自分自身と向き合う改めて気づきの大切さを感じました。明日以降の業務に活かしていけるよう取り組みたいと感じました(事務 1年)

・ヒヤリ・ハットはよく聞きますが、ポジティブインシデントについてよく理解できました。気づきの共有はとても大切ですが、そのためにも職場の雰囲気も大切と感じました。外来でのクレーム対応についてとても参考になりました。患者さんへの共感や傾聴について改めてどう対応するのか勉強になりました(看護師 17年)

・コミュニケーションの大切さを感じました。心をこめた態度、話かけをすることで、患者の気持ちも変わることが実感しています。クリニックのスタッフ間のコミュニケーション、人と人の気持ちのこもった対話ができるよう、人の助言をもらいながら安心していただけるように…と思いますが、また、何か苦情を言われたらどうしようということばかり先にたってしまう。よい研修に参加できてよかったです(看護師 1年)

・いろいろと対応改善されているお話をお聞きしましたが、まずは一人ひとりの気づき、情報共有することが大切と感じました。確認作業でマニキュアを塗るというアイデアは面白く、どこの病院でもできると思いました(事務 4年)

・いろいろなアイデアを自分の病院に持ち帰り、コミュニケーションツールに使わせてもらおうと思いました。また指差し確認の徹底を行おうと思えます(看護師 25年)



参加者からも活発な質疑が出された

☆北播支部ニュースへの投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。

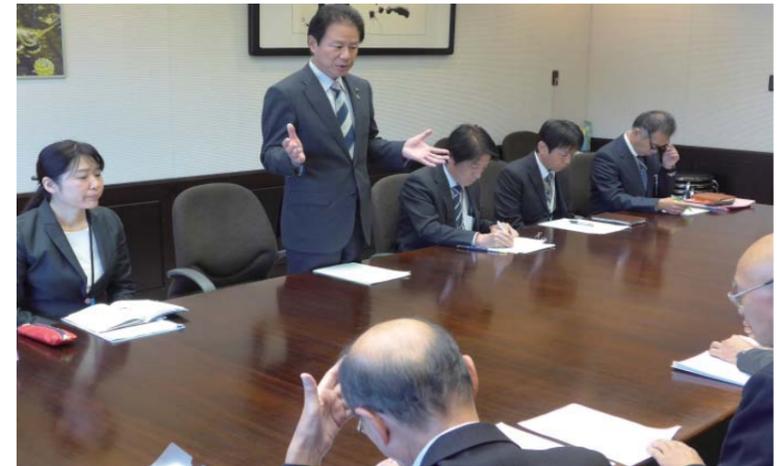
日常診療にかかわることや、主張、趣味のお話などお寄せください。

TEL 078-393-1817 / FAX 078-393-1802 e-mail ysng@doc-net.or.jp 担当; 吉永まで



2市1町の自治体キャラバンに参加

「闊達な意見交換を」と西村加西市長



北播支部は、協会が参加する兵庫県社会保障推進協議会の加西市(10/30)、西脇市(11/19)、多可町(11/20)の各自治体キャラバンに参加。国保、介護、高齢者医療など社会保障に関する諸課題について各自治体の担当者と交流した。加西市長の西村和平氏(写真)は冒頭の挨拶で「社会保障には思い切った改革が必要と思う。社保協とは意見を異にするが、立場を超えての意見交換は重要。みなさんの日頃の活動に敬意を表する」とした。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 (0120) 979-451

〈12月のテーマ〉

月曜日 目のかすみと白内障

火曜日 唾液と病気

水曜日 お酒と肝臓

木曜日 尿路系の結石について

金土日 唇の荒れ

* 12/28(金) ~ 1/6(日)

お餅の食べ方と食べ過ぎに注意!

〈1月のテーマ〉

月曜日 高齢出産へのアドバイス

火曜日 歯と口のケアで健康寿命を延ばしましょう

水曜日 アスベスト(石綿)による健康被害

木曜日 声のかすれ

金土日 便秘症と、その治療薬について

兵庫県保険医協会のホームページは

<http://www.hhk.jp/>

* 生涯研修に役立つ各種研究会のご案内、生活を支える共済制度のご紹介、日々の協会活動報告を掲載しております。ぜひご覧ください!